

# 生涯学習の拠点

としての図書館

## みなさまの「知りたい」を強力サポート レファレンスサービス

県民のみなさまの調査研究や生活の中のさまざまな疑問に対して、参考となる資料の紹介や情報の提供など調べ物のお手伝いをします。

カウンターで直接お受けする他、電話、FAX、当館Webサイトでも質問を受け付けています。



## 県民向け講座「葵レク」の開催

「貴重書講座」や「新刊サロン」、「書庫開放」、「健康医療情報講演会」など学びを支援する講座を開催しています。



## 地域資料の収集



「地域資料コーナー」では、静岡県に関する資料を網羅的に収集・整備し、ご利用いただいています。これらの書誌データを独自に作成、公開するなど、静岡県に関する調べ物に役立つ情報の提供に取り組んでいます。

# 調べる 考える 解決する

## 資料情報センター

としての図書館

### 調査・研究を支援する資料

県内図書館の中核として調査研究の機能を遂行するための資料収集と、市町立図書館への援助・協力を中心とした資料整備を行っています。研究調査用の参考図書を中心に、全分野にわたり入門書から学術書まで、幅広く収集・整備をしています。市町立図書館に比べるとやや専門性の高い資料の比重が高くなっています。

### 資料の永年保存

当館では、所蔵資料を永年保存しています。雑誌についても永年保存しており、全国屈指の所蔵タイトル数を誇っています。

### デジタルライブラリー

当館が所蔵している葵文庫（江戸幕府旧蔵書）、久能文庫（初代静岡県知事関口隆吉収集資料）、浮世絵（上村翁旧蔵浮世絵集コレクション）、地域資料、その他の貴重書や行政資料のうち、公開準備の整った画像を当館Webサイトで公開しています。



「富士山案内」  
(大宮浅間神社社務所)

## 市町立図書館のため

の図書館

### 静岡県内 127 館の図書館をつなぐネットワークづくり

#### 「おうだんくん」システムの提供

県内図書館約 100 館の蔵書を、Web上で横断的に検索できます。

#### 県内図書館間の相互物流システムの整備

県民のみなさまが様々な本を読めるように、各図書館の協力の下、県内の図書館の所蔵資料を相互に貸し借りし提供する仕組みを整えています。



#### 「協力車」による運営相談

「協力車」で県内の市町立図書館を定期的に訪問し、運営の相談を受けています。

#### 図書館職員向け研修の開催

県内図書館職員を対象に、レファレンスサービスや児童向けサービス、図書館運営等の各種研修を開催しています。

## 子ども図書研究室



子どもの読書活動推進のため、「子どもと本を結ぶ活動」に関わる方々を支援することを目的に、多くの子ども図書や参考図書を収集しています。

平成 15 年度以降に刊行された、中学生までを対象とした本のほとんどすべてを収集しています（マンガ、ゲーム攻略本、学習参考書は除く）。中学生を除く 15 歳以上の方にご利用いただけます。



## 沿革

### 葵文庫

「葵文庫」扁額  
徳川家達 書

- 大正 10 年 徳川家の記念事業として寄付を受け、県立図書館設立を県会に提案議決
- 大正 14 年 「静岡県立葵文庫」（静岡県立中央図書館の前身）開館
- 昭和 31 年 図書館法に基づき、「静岡県立中央図書館葵文庫」と名称変更
- 昭和 45 年 現在の場所に「静岡県立中央図書館」として移転開館
- 平成 16 年 「おうだん検索」等供用開始、子ども図書研究室開設
- 平成 21 年 「静岡県立中央図書館と浙江省図書館との友好提携書」を当館にて締結
- 平成 23 年 健康医療情報コーナーを設置



「静岡県立葵文庫」  
現在の県庁に隣接していた



昭和 45 年、現在の地に移転・開館

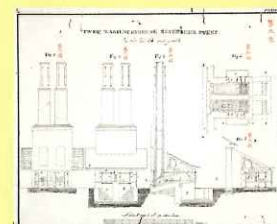


平成 21 年 2 月 24 日  
浙江省図書館と友好提携書締結

## 特殊コレクション

### 「葵文庫」

「葵文庫」（江戸幕府旧蔵書）とは、幕末の公的機関であった蕃書調所、洋書調所、開成所、さらには昌平坂学問所、箱館奉行所等の旧蔵書から成るコレクションです。これらは慶応 4 年 8 月徳川家の駿府移封とともに静岡に移され、府中学問所（駿府学校）、静岡学問所（静岡学校）、さらには静岡師範学校へと逐次継承され、大正 14 年 4 月、静岡県立葵文庫の開館にともなって、当館に収蔵されました。



『焔鉄全書図』

### 「久能文庫」

初代静岡県知事関口隆吉は、明治維新後の日本の飛躍を祈念し、欧米にならった公開図書館を建設しようとして自ら資料を収集しました。隆吉の没後、それらの収集資料類は久能山東照宮に保管されたままでしたが、大正 10 年に静岡県立の図書館設置が決まり、大正 13 年、関口荘吉（隆吉の長男）氏よりこれらの蔵書が県立図書館に寄贈され、「久能文庫」と名付けられました。

内容は歴史・地理・経済・法律など社会、国家の発展に役立つものに重点が置かれていて、新しい時代を見通したものになっています。



初代静岡県知事  
関口 隆吉

### 「上村翁旧蔵浮世絵集」

現在の静岡市葵区北安東に居住していた元陸軍大佐上村順太郎氏が蒐集した浮世絵コレクションです。昭和 11 年に上村家より当館に寄贈され、役者（歌舞伎）絵、風俗画美人画など、幕末から明治にかけての浮世絵等 3,187 点、約 5,100 枚で構成されています。

絵師別には、「にがほ（役者絵）」の初代歌川国貞（3代豊国、1786～1864）556 点、「むしや（武者絵）」の歌川国芳（1797～1861）161 点、「最後の浮世絵師」豊原国周（1835～1900）238 点、美人風俗を好んで描いた楊洲周延（1838～1912）196 点、「明治浮世絵界の巨星」月岡芳年（1839～1892）209 点を数え、これら 5 人の作品点数が全体の 4 割を占めています。



月岡芳年  
『月百姿孫悟空玉兎』